

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	788 埋蔵文化財整理所維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	02	文化財保護費
		細目	435	文化財施設維持管理事業
細目	01	埋蔵文化財整理所維持管理経費		
担当部署	コード 450400	担当者氏名	福田典明	連絡先 22 - 9681 (内線) 3840
名称	教育委員会 生涯学習課			

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	開発事業地内に所在する埋蔵文化財包蔵地で発掘調査することによって検出された遺構や遺物を記録保存する。 ※対象件数
成果(どうする)	各種開発事業が円滑に推進される。
根拠法令・要綱等	文化財保護法
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
H21 事業内容	出土遺物の洗浄・注記・接合・補修等の遺物の整理作業を行なった後に、出土遺物の実測・拓本・写真撮影を行い、報告書を作成する。
社会情勢の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	市に譲渡された遺物量	箱	目標	100	目標	100
			実績	195	実績	92
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	発掘調査整理作業	発掘調査によって出土した遺物や図面等の記録を適切に保管する。	件	目標	3	目標	3
				実績	5	実績	1
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	821		821		690		530	
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0					
一般財源	821		821		690		530	
事業投入人件費(B)	1.5人 10,800		1.5人 10,800		1.5人 10,800		1.5人 10,800	
フルコスト(A)+(B)	11,621		11,621		11,490		11,330	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
<p>法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業</p> <p>個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業</p> <p>特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業</p> <p>事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業</p> <p>市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業</p> <p>市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業</p> <p>国や県、民間が同様のサービスを提供している事業</p> <p>市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業</p> <p>民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業</p> <p>受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業</p> <p>事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業</p> <p>【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】</p>	<p>小規模の開発が多く、受託する調査事業が少ない現状において、整理所の維持管理は埋蔵文化財調査を完遂する上で不可欠である。</p>
<p>財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業</p> <p>【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】</p>	
<p>事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。</p> <p>基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高</p> <p>サービス水準や対象を見直す余地がある。</p>	○
<p>当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】</p> <p>予算の繰越の有無 無</p> <p>【予算の繰越がある場合、繰越の種別】</p>	
<p>他の事業主体の活用、事業移管が可能である。</p> <p>基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。</p> <p>【事業名】</p> <p>受益者負担を求めることができる事業である。</p> <p>全体コストにおける負担構成は適正である。</p> <p>コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。</p>	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	埋蔵文化財に関する情報の発信を行う。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	計画的に埋蔵文化財の整理作業を進め、調査記録をまとめることができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	横田 ちえみ
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	発掘調査により検出された遺物等について、報告書を作成し公表すると共に、広報いが市や歴史資料館での展示等により情報を提供する。
現時点における課題、その他	発掘調査で検出された遺物を登録し管理しているが、整理所の収納スペースが狭くなっている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	出土遺物を収蔵する場所について、2~3年を目途に検討する。